

平成 29 年度 指定管理者年度総合評価表

(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月実施分)

作成日	平成 30 年 6 月 6 日
-----	-----------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市身体障害者更生館		
所在地	八戸市類家四丁目 3 番 1 号		
施設概要	在宅の心身障がい者に対し、在宅福祉サービスの援助、社会的生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、相談事業及び福祉制度の情報提供等を総合的に行うことを目的とした施設。		
指定管理者	名称	社会福祉法人 やすらぎ会	
	代表者	理事長 齋藤 鈴子	
	所在地	八戸市大字松館字田ノ平 19 番地 1	
指定期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日		
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設定管理の維持や使用許可を行うこと。 ・障がいに関する各種相談や障がいの機能回復訓練を行うこと。 ・館内の集会室を障がい者の集会等の用に供すること。 ・障がい者の福祉増進に寄与する事業の企画及び実施すること。 		
市所管課 (問合せ先)	福祉部 障がい福祉課 障がい福祉グループ		
	電話	0178-43-9106 (直通)	
	E-mail	shogaif@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	<p>【年間管理業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 八戸市身体障害者福祉センター設置条例等を遵守し、当館の設置目的を効果的・効率的に達成できるような施設運営に努め、障がい者等が地域で自立した日常生活を営むことができるよう、地域福祉の充実と社会参加の促進を図った。 2. 障がい者の健康増進のため、社会参加・生活訓練プログラムを企画し、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)防止、料理講習会、健康体操、認知症予防、生活力、移動機能低下を防ぐための健康に関する講習会等を行った。 3. 障がい者、家族、福祉団体等の利用機会の公平性の確保と、福祉活動及び交流の場として効果的な施設の活用に努めた。 4. 利用者に親しまれる施設であるために、施設の維持管理と利用者の安全管理を徹底するとともに、職員の専門知識の習得や能力育成を図り、市民サービスの改善や向上に努めた。 5. はちのへクリーンパートナーとして、利用者や障がい者の方と一緒に、市民センター周辺のごみ拾い活動を行い、地域の環境美化に努めた。 <p>【施設、設備等の維持管理に関する業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職員による定期点検(日常点検、法定点検、定期点検)を徹底し、利用者の安全管理と環境衛生の改善に努めた。 2. 施設や設備等の不具合や異常が確認された場合は、必要に応じて職員が改善を図り、利用者の安全確保と保守点検に努めた。 3. エネルギー使用時の環境への配慮として、水道・電気・燃料等の使用量の削減に努めた。 4. 廃棄物排出時の環境への配慮として、ゴミの出し方や分け方のルールを徹底し、リサイクル推進と適正処理に努めた。 5. 駐車スペースや歩行者通路の除雪や融雪剤の散布を行い、利用者の転倒防止に努めた。
----	--

<p style="text-align: center;">評 価</p>	<p>【自主事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主事業を通じて、障がい者の就労の場の提供と支援を図り、障がい者の自立に向けて就労支援を行った。 2. 共同作業を通して生活や就労に向けての助言や指導、勤労意欲の向上を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業に従事した障がい者 知的障がい者1名、精神障がい者1名、手帳無し2名 合計4名 <p>【八戸市障がい者相談支援事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者総合支援法等を遵守し、障がい者等が地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができよう、相談支援に努めた。 2. 障がい者や家族が抱えている生活上の不安や問題点の解決に努めるとともに、関係機関等と連携を図り、困難なケースや緊急性を要する相談支援に努めた。 3. 障がい者の特性に応じた福祉サービスの情報提供や様々な生活支援に努めました。 4. 障がい者の意欲や能力に応じた就労支援を図り、生活を総合的に支える効果的な相談支援に努めた。 5. 障がい者の社会生活力を高めるための行事等を開催し、生活力向上の支援を行った。
<p style="text-align: center;">今後の目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 創意工夫を発揮し、公平公正に利用者へのサービスの向上に努めるとともに、地域の福祉増進を図る。 2. 障がい者等が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、関係機関と連携し、障がい者の自立と生活能力向上の支援を行う。 3. 障がい者等の心身機能の維持向上のため、健康づくりや交流の場を提供し、社会参加の促進を図る。 4. 障がい者の健康と福祉の増進を図る施設としての広報活動を推進し、関係機関や地域の方々へ周知する。 5. 障がい者の不安や問題解決を図るとともに、地域の生活に有効な様々な支援を行う。

■市（所管課）の総合評価

<p style="text-align: center;">評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各計画書、報告書等が遅滞なく提出され、適正な施設管理が行われていた。 ・障がい者やその家族、福祉団体等の利用機会の公平性を保ち、社会福祉活動の場として効果的な施設利用に努めていた。 ・施設の維持管理に関して、職員による日常点検を実施し、設備の不具合や異常があった場合には速やかに修繕を行うなど利用者の安全確保に努めていた。 ・障がい者等の健康・福祉の充実を図るため、各講習会や支援等を行い、健康増進や社会参加の促進に努めていた。 ・相談支援事業に関して、各関係機関と連携を図りながら、利用者のニーズに合わせたサービスの提供に努めていた。
<p style="text-align: center;">指摘事項</p>	<p>特になし</p>

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況

指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	相談支援事業の実施を休館日に行うなど、サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	◎	業務基準書に示された配置基準以上の人員を配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合 (選定時加点)	○	市内に居住する障がい者で業務を遂行できる人材を雇用していた。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合 (選定時加点)	○	提案内容と概ね同程度の地域貢献活動が行われていた。 ・はちのへクリーンパートナーとして登録し、施設周辺・外出先の環境整備活動に取り組んでおり、協働のまちづくり推進に向けて積極的に活動していた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	◎	事故、災害等の緊急事態に対する対応(準備)が非常に良くできていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備されており、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告、事業報告書等が適切に提出されていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
付保する保険 ※協定書で指定管理者に保険加入を指定している場合	○	協定書で指定する保険に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	平成 21 年度から 25 年度まで及び 26 年度から 30 年度まで継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	平成 21 年度から 25 年度まで及び 26 年度から 30 年度まで継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	○	事業計画書、収支計画書の変更が速やかに提出されていた。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適正に行われていた。 (使用制限、条件の変更、入場拒否はなかった。)

施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
相談支援事業	○	相談者数は月平均で64人であった。1人で複数回利用することもあり、支援の件数としては月平均80件であった。 (29年度延べ956件、28年度延べ1,141件、27年度延べ1,253件)
貸出し状況(貸館)	○	貸館件数419件(月平均35件) 貸館人数2,848人(月平均237人)
その他利用状況	○	施設利用者の要望・希望により、健康体操や各講習会を行った。
自主事業	○	障がい者の自立や就労意欲の向上を図り、福祉就労や一般就労に繋げる支援として、薪作り及び販売を行った。 (従事者の内訳) 知的障がい1人、精神障がい1人、手帳なし2人
その他の取組 (運営に関する工夫)	◎	はちのへクリーンパートナーに登録し、施設周囲で清掃活動を実施するなど、障がい者の社会参加の促進に取り組んでいた。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																													
指定管理業務の収支状況	○	収支状況が当初の目標を達成した。 (単位：円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">収入①</td> <td>指定管理料</td> <td>13,438,000</td> <td>13,438,000</td> <td>13,438,000</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>262,521</td> <td>262,521</td> <td>112,150</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,550,150</td> <td>13,550,150</td> <td>13,567,430</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">支出②</td> <td>人件費</td> <td>11,475,000</td> <td>11,705,630</td> <td>11,561,420</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>1,174,150</td> <td>906,503</td> <td>970,269</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>901,000</td> <td>675,496</td> <td>923,591</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,550,150</td> <td>13,287,629</td> <td>13,455,280</td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>131,841</td> <td>262,521</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収入－支出(①-②-③)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	指定管理料	13,438,000	13,438,000	13,438,000	修繕料繰越金	262,521	262,521	112,150	計	13,550,150	13,550,150	13,567,430	支出②	人件費	11,475,000	11,705,630	11,561,420	維持管理経費	1,174,150	906,503	970,269	事業費・一般事務費	901,000	675,496	923,591	計	13,550,150	13,287,629	13,455,280		次年度修繕料繰越金③	0	131,841	262,521		収入－支出(①-②-③)	0	0	0
	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																											
収入①	指定管理料	13,438,000	13,438,000	13,438,000																																											
	修繕料繰越金	262,521	262,521	112,150																																											
	計	13,550,150	13,550,150	13,567,430																																											
支出②	人件費	11,475,000	11,705,630	11,561,420																																											
	維持管理経費	1,174,150	906,503	970,269																																											
	事業費・一般事務費	901,000	675,496	923,591																																											
	計	13,550,150	13,287,629	13,455,280																																											
	次年度修繕料繰越金③	0	131,841	262,521																																											
	収入－支出(①-②-③)	0	0	0																																											
自主事業の収支状況	○	収支計画は黒字であった。 収入 561,000円 支出 403,671円 収支 157,329円 (計画：収入 600,000円 支出 400,000円 収支 200,000円)																																													

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	「ご意見ボックス」の設置及びその結果を活かす仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設の概要や利用方法等について、広報誌やホームページ等により積極的に周知活動をしていた。

苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。 ・ご意見ボックスを設置していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等が無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	<p style="text-align: center;">実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設や設備の日常点検を実施していた。 施設や設備に異常や不具合があれば速やかに修繕などを行った。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	<p style="text-align: center;">実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 月例報告は遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	14回	5月17日	担当	施設状況確認
		5月29日	担当	施設状況確認
		6月2日	GL, 担当	施設状況確認
		7月6日	GL, 担当	施設状況確認
		7月10日	担当	施設状況確認
		8月24日	担当	施設状況確認
		9月28日	担当	施設状況確認
		10月4日	GL	施設状況確認
		11月8日	担当	施設状況確認
		12月11日	GL, 担当	施設状況確認
		12月13日	担当	施設状況確認
		2月8日	担当	施設状況確認
		2月23日	担当	施設状況確認
		3月20日	担当	施設状況確認
実施結果				
施設の管理運営について適切に行われているか及び設備の不備等がないかどうかを確認した。				

※GL：グループリーダー